

Kawai Salon Concert in Omotesando No.265

深沢亮子

ピアノリサイタル vol.4

ピアノとヴァイオリンによるタベ ～自然への讃歌～

ヴァイオリン：恵藤久美子

2009年3月18日(水) 19:00 開演
カワイ表参道 コンサートサロン パウゼ

主催／カワイ音楽振興会

Profile



深沢亮子 *Ryoko Fukasawa* (Piano)

千葉県東金市出身。3歳より両親からピアノの手ほどきを受け、10歳で永井進氏に師事。12歳で全日本学生音楽コンクール小学校の部で全国第1位、文部大臣賞を受賞。15歳で第22回日本音楽コンクールで首位受賞。日比谷公会堂にて上田仁指揮、東京交響楽団とウェーバーのコンチェルトシュテツックを協演。また、東京ヤマハホールにて国内デビューリサイタルを開催。

1956年、高校在学中、留学生試験に合格し、ウィーン国立音楽大学へ留学、G.ヒンターホーファー教授に師事。在学中ガスタイン賞を受賞し、1959年首席で卒業。翌年、ウィーン楽友協会プラームス・ザールにおいてデビューリサイタルを開催し、大成功をおさめる。1966、1972年にも同ホールでのリサイタル。また、室内楽のコンサートを度々催す。

1961年、ジュネーブ国際音楽コンクール2位入賞(1位なし)。以来ムズイクフェライン黄金の間やコンツェルトハウスで度々オーケストラとの協演をはじめ、ヨーロッパ、南米、アジア諸国の主要ホールでのリサイタル、室内楽(新・旧ウィーン八重奏団、ウィーン室内アンサンブル、ブリュッセル絃楽四重奏団、シュトイデ絃楽四重奏団、ソリストではP.フルニエ(Vc)、I.ガヴリッシュ(Vc)、G.ピツヒラー(Vn)、徳永兼一郎(Vc)の諸氏他)のコンサート、放送にて活躍。日本の現代作品も海外へ積極的に紹介する。特に助川敏弥作品のピアノ曲を数多く初演、再演、録音している。

また、著名な指揮者(A.クヴァドゥリー、H.ヴァールベルク、L.v.マタチッチ、Z.ゴシュラー、E.メルツェンドルフアー、B.クロブチャー、R.ヘーガー、O.マツェラート、G.ヴァント、J.ローゼンシュトック、R.レppard、K.エッティン、K.エスタライヒャー、朝比奈隆、秋山和慶、森正、山田一雄、岩城宏之、小澤征爾、小林研一郎、外山雄三、渡邊曉雄 他)の元でスイス・ロマン管弦楽団を始めウィーンN.O. トーンキユンストラー管弦楽団、ウィーン室内管弦楽団、グラーツ・フィルハーモニー管弦楽団、N.響、東響、東フィル、日フィル、都響、読売日響、大阪フィル 他)のソリストとして定期演奏会、特別演奏会、演奏旅行等精力的に活動し、ピアニストとしての国際的な地位を確立。

ウィーンのベートーヴェン国際ピアノコンクール(1989、1993、2001年)、日本音楽コンクール、モーツァルト・コンクール他の審査員を務めるかたわら、NHKや民間放送局のラジオ、テレビへの出演(「名曲アルバム」、「ピアノのおけいこ」、「テレビリサイタル」、「世界の音楽」、「音楽の広場」、「題名のない音楽会」他)、数多くのレコードやCD、著作、楽譜の出版、全国各地での公開レッスンや公開講座、音楽祭での講師など後進の指導にもあたり、次代をになう若手ピアニストが育っている。

1992年には国際交流基金より音楽文化使節として天満教子女史(Vn)とルーマニア、チェコ、スロバキア、ブルガリアへ派遣され、10回の演奏会とラジオ、テレビ放送に出演し、大きな成果をあげる。1998年9月ケルン日本文化会館の招きにより同ホール及びウィーンにてコンサートを、また2008年9月、デュッセルドルフ、クロアチアのザグレブにて演奏会を行う。

2003、2004年には、デビュー50周年記念演奏会を東京オペラシティ・コンサートホールで開催、佐倉市民音楽ホール、東金文化会館にも招かれる。また、記念のCDが2005年ナミ・レコードより発売された。また、2007年には、恵藤久美子、安田謙一郎の両氏とCD「深沢亮子と室内楽の仲間たち」がリリースされ好評を得る。更に2009年秋に第2弾が発売予定。

1963年大阪府民劇場奨励賞。1995年千葉県文化功労者。2005年東金市政特別功労者。日本音楽舞踊会議代表理事。

深沢亮子ホームページ <http://www2.bbweb-arena.com/carillon/>



恵藤久美子 *Kumiko Eto* (Violin)

3歳より母にピアノを、5歳より父にヴァイオリンの手ほどきを受ける。

7歳の時、斉藤秀雄氏の薦めにより、ヴァイオリンの道を歩み始める。同時に桐朋学園「子供のための音楽教室」鎌倉分室へ入室する。ヴァイオリンを鷺見三郎、鷺見健彰、海野義雄の各氏に師事。室内楽を黒沼俊夫、斉藤秀雄両氏に師事。

第41回日本音楽コンクール第2位入賞。

1972年、兄・堤剛と「二重奏の夕べ」を、東京とカナダのオンタリオにて開催。1979年、リサイタルで弘中孝氏と共演。2002年7月には、深沢亮子氏とヴァイオリンとピアノの夕べを開催。2003年、2004年、2005年、2006年、2007年、2008年、12月深沢亮子氏、安田謙一郎氏とピアノ、ヴァイオリン、チェロの夕べを開催。2004年、2006年、6月中野祥子氏とデュオコンサートを開催。

東京フィル、新日本フィルとメンデルスゾーン協奏曲、札幌響とシベリウスの協奏曲、山形響とモーツァルトの協奏曲、桐朋学園オーケストラとブルッフの協奏曲を共演。その他アマチュアオーケストラとの共演も数多い。

1975年より約10年間、桐五重奏団のセカンドヴァイオリンとして活躍する。また、1980年より2年間山形交響楽団の客演コンサートマスターとして在籍する。

現在、アンサンブル・アルス・ノバ・コンサートマスター。桐朋学園大学講師。日本音楽舞踊会議会員。

Program

ベートーヴェン
L.v.Beethoven

ピアノとヴァイオリンのためのソナタ 第5番 "春" へ長調 Op.24
Sonate für Klavier und Violine Nr.5 "Frühling" F-dur Op.24

- I. *Allegro*
- II. *Adagio molto espressivo*
- III. *Scherzo, Allegro molto*
- IV. *Rondo, Allegro ma non troppo*

助川敏弥
T.Sukegawa

空想の岸辺 (2008)
The Imaginary Seashore

助川敏弥
T.Sukegawa

夜の雨 (2006) ～ピアノとヴァイオリンのための～
Night rain

助川敏弥
T.Sukegawa

花の舞 (2005)
Cherry blossoms falling in the wind

～ Pause ～

ベートーヴェン
L.v.Beethoven

ピアノ ソナタ 第21番 "ワルトシュタイン" ハ長調 Op.53
Sonate für Klavier Nr.21 "Waldstein" C-dur Op.53

- I. *Allegro con brio*
- II. *Introduzione, Adagio molto - attacca*
- III. *Rondo, Allegretto moderato*